



▲ 前田京大総長



▲ 文部省岩岡氏

加藤 理学部長 ▶



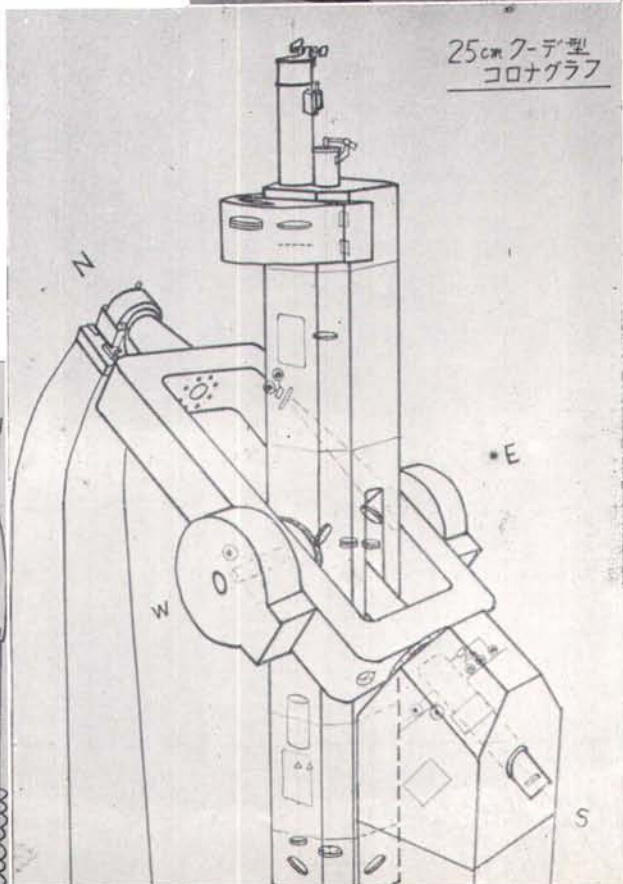
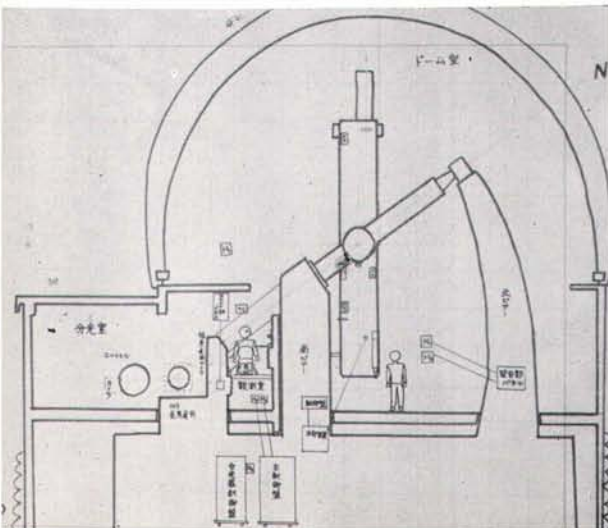
クーデ型コロナ
グラフの光学系 ▼

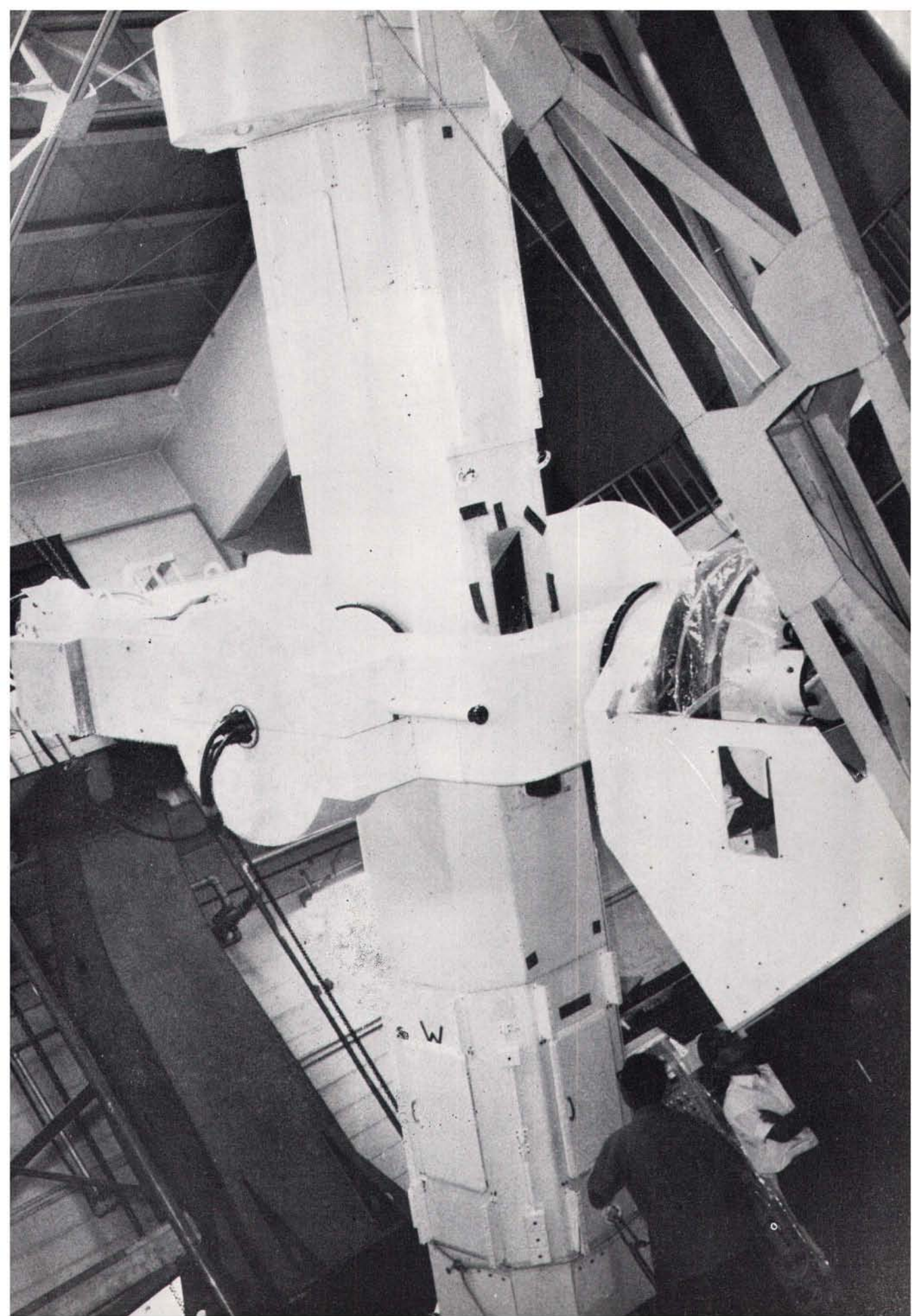
にぎやかになってきた 天文学界

京都大学飛騨天文台で、惑星観測のための 65 センチ屈折望遠鏡の起工式が行なわれた。表紙で紹介したよおに、同天文台ではすでにいろいろな観測が行なわれており、こんどさらに屈折望遠鏡が加わることになった。写真はくわ入れ式の情景。

また、東京天文台で建設、乗鞍コロナ観測所に設置予定の 25 センチクーデ型コロナグラフが本年はじめ、日本光学の工場で作成し、調整、据付を待っている。右頁はその全容。

▼ クーデ型コロナグラフの概観





花山天文台でとらえた太陽と月

右の6枚の写真は太陽の縁に現われたフレアーループ。スリット面で反射した光をヘリオスコープで H α 光で撮影。横の黒い線はスリットの影。

上から 1971 年 4 月 24 日 13h 59m, 14h 01m, 14h 02m, 14h 05m, 14h 07m, 14h 09m JST である。ループはひろがった形のままやせ細りそのまま消滅した。

下左上 付近にフレアが発生したためにはげしい運動をはじめた紅炎のスペクトル写真。ドップラー効果のために線がみだれている (1970 年 4 月 15 日 14h 30m)

下右上 フレアーループの H α スペクトル (1971 年 4 月 24 日 14h 01m, つまり、右の写真の上から二番目のときのスペクトル)

下左下 縁の近くのフレアの H α スペクトル (1970 年 8 月 29 日 7h 16m)

下右下 フレアーループの根元の H α スペクトル (1970 年 8 月 30 日 8h 14m)

下段 月令 25.8 日の月。ベイリー、シッカルド、ワルゲンチン付近 (新刊紹介欄「宇宙の姿」に所載)。

